

(申請書情報)

令和 7 年度採用分 海外特別研究員-RRA 申請書

第 版

受付番号				
審査区分	①書面合議審査区分			
	②書面審査区分			
	③小区分名			
	④小区分コード		⑤専門分野	

⑥研究課題名	(和文)
	(英文)

1. 申請者情報等

(所属機関コード:)

⑦氏名	登録名	(フリガナ) (姓) (名)	(漢字等) (姓) (名)
-----	-----	----------------	---------------

⑧大学院 博士課程 (出身または在学)	入学年月	(西暦) 年 月 日 入・進学
	大学名	国内の大学 / 海外の大学
	研究科名	
	課程種別	
	修了・退学等	(西暦) 年 月 日 修了 / 単位取得満期退学 / 中途退学
	学位	(西暦) 年 月 日
学位付記 専攻分野		
⑨学歴 (学部、 修士、博士)		
⑩研究・職歴等 研究・職歴等の別紙 の有無 有 / 無	就職日 (大学等研究機関の任期に定めのない常勤研究職) (西暦) 年 月 日	
⑪研究中断理由	申請者本人又は配偶者の出産又は育児 / 家族の看護 / 家族の介護 / 結婚に伴う転居による辞職	
⑫研究中断直前の 職・身分・雇用形態	職・身分	
	雇用形態	任期なし常勤職 / 任期付き常勤職 / 非常勤職 / その他
⑬研究中断期間	1. (西暦) 年 月 日 ~ (西暦) 年 月 日 (通算 日)	
	2. (西暦) 年 月 日 ~ (西暦) 年 月 日 (通算 日) (一日 時間 週 日勤務) 研究中断期間の合計: 日	

⑭現在の 所属機関	所属機関名			
	部局名			
	職名		任期の有無	無 / 有
⑮申請時点における 身分	(プルダウン) (1) 我が国の大学等学術研究機関に所属する研究者 (2) 我が国の大学等学術研究機関に所属する研究者を志望する者			
⑯海外特別研究員 終了後の進路				

⑰派遣を希望する期間	(西暦) 年 月 日 ~ (西暦) 年 月 日 (2年間)
⑱派遣国	
⑲海外における受入の 大学等研究機関での身分	

⑳現在の 受入研究者	氏名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字またはローマ字) (姓) (名) 外国人の場合、ローマ字入力。	
	科研費 研究者番号		
	所属機関名	国内の機関 / 海外の機関	
	部局名		
	職名		
㉑出身大学院の 研究指導者	氏名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字またはローマ字) (姓) (名) 外国人の場合、ローマ字入力。	
	所属機関名	国内の機関 / 海外の機関	
	職名		
㉒海外における 受入研究者	氏名	(FAMILY NAME) (First Name) (Middle Name) (英文) 海外受入研究者が日本人の場合、入力して下さい。 (漢字等) (姓) (名)	
	職	(英文) (和文)	
	受入機関名	(種別) 大学 / 国公立試験研究機関 / 非営利の民間研究機関 (英文) (和文)	
	受入部局名	(英文) (和文)	
㉓評価書 作成者	氏名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字またはローマ字) (姓) (名) 外国人の場合、ローマ字入力。	
	所属機関名	国内の機関 / 海外の機関	
	部局名		
	職名		

㉔ 研究活動における主な使用言語		
㉕ 外国での研究遂行能力について (語学能力の確認)	説明	
	客観的な指標	(次の項目のうち、申請者がチェックを付した項目が本欄に記載されます) ・主な使用言語の語学検定試験結果 －試験名称 1 : －級/スコア 1 : －取得年月日 (西暦) 1 : ●年●月●日 －試験名称 2 : －級/スコア 2 : －取得年月日 (西暦) 2 : ●年●月●日 ・国際学会において、主な使用言語での発表経験の有無、回数 ・主な使用言語での論文執筆経験の有無、数 ・主な使用言語圏への留学経験の有無、内容 ・主な使用言語の日常的な使用頻度 －研究室で日常的に使用している －主な使用言語を用いてフィールドワークを行っている －主な使用言語を用いて共同研究を行っている 等 ・その他、客観的に相応の語学能力を有しており、外国での研究活動に支障がないことがわかる事例

㉖ 海外における研究・留学歴	訪問先 : 目的 : 期間 : (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日
	訪問先 : 目的 : 期間 : (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日
	訪問先 : 目的 : 期間 : (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日

㉗ その他特記事項	
-----------	--